

特別講演2

九州・沖縄地区高気圧環境医学懇談会の 生い立ちとその後

八木博司

特定医療法人八木厚生会 八木病院

第20回と第21回日本高気圧環境医学会総会が昭和60年と61年、2年続けて九州・沖縄地区で開催されたことが契機となって、この地域でも高気圧酸素療法(HBOT)に対する関心が高まり、本療法を啓蒙し、普及・発展させようとする気運が生まれた。

そこで、第21回の会長を務めた私が音頭をとって、九州各県の大学救急部および外科の先生方へHBOTに関する勉強会をしませんかと呼びかけたところ、鹿児島大学沢田祐介先生、久留米大学篠崎正博先生、長崎大学心臓血管外科の釘宮敏定先生、産業医科大学の今田育秀先生と第20回前学会長の湯佐祥子先生および中津の川嶌真人先生と私の7名が集まり、昭和63年に九州・沖縄地区高気圧環境医学懇談会を発足させた。そして、この懇談会は各県持回りで、毎年1回夏休み最後の土曜日の午後半日行うこととした。この懇談会が九州各県を二巡し、三巡目に入った頃、日本高気圧環境医学会より懇談会を地方会へ昇格してもよいという許可をもらったので、懇談会の名称を、日本高気圧環境医学会九州地方会とした。懇談会が地方会へ昇格したので、学術団体としての体裁を整える必要があると考え、久留米大学救急部の加来信雄先生と相談して、地方会の事務所を私のところから久留米大学救急部へ移し、大学のお力で会員の裾野を広げていただくようお願いした。この地方会が8回続いた頃、日本臨床高気圧酸素・潜水医学会が誕生した。中央の組織が2つになったので、どちらか一方の学会名で地方会を続けることに抵抗を覚えるようになり、思い切って九州の独自性を出すため、九州高気圧環境医学会と名称を変更した。そして、学会の回数は地方会頭初からの通し番号とし、学会の会期を半日から1日へ延した。

このように学術集会の名称が次々に変わったが、その中身は変わることなく、また会を中断することなく今日までの26年間に27回の学術集会を開いてきている(表1)。このように会が存続できたのは、一重に歴代会長と会員諸氏の一致団結・協力の賜物で、換言すればこの小集団がようやく地域で認知され、定着してきたことを物語るものと思われた。

一方、事務所の方も二転三転して、久留米大学救急部の加来先生ご退官後、本日座長の労を取ってお

表1 九高圧懇談会の変遷(学術集会:26年間に27回)

- 九州・沖縄地区高気圧環境医学懇談会(12回)
昭和63年(1988)~平成11年(1999)
- 日本高気圧環境医学会九州地方会(8回)
平成12年(2000)~平成19年(2007)
- 九州高気圧環境医学会(7回)
平成20年(2008)~平成26年(2014)

られる前佐賀大学救急部の瀧先生の所へ移し、瀧先生停年ご退官後、久留米の聖マリア病院へ移られたので、事務局を聖マリア病院へ移した。

最初、医師及び医師以外の医療従事者夫々80名、計160名程で始めたこの小集団はその後医師及び医療従事者の微増を認め、地方会へ移行した平成11年には医師111名、非医師108名、計219名の集団となり、世話人も7名から15名へ増えた。年度別会員数は240名前後で、ほぼ一定しており、医師数が非医師数より多い傾向を認めた。

次に、治療装置の設置台数であるが、懇談会設立時、第一種12台、第二種14台であったが、10年経過した平成9年には第一種150台、第二種17台となり、その後は横這い状態である。第一種治療装置の伸びはずましく、1位福岡、2位鹿児島、3位大分の順であったが、最近5年間の集計では、第一種治療装置の設置台数は福岡の44台に比べて鹿児島は70台と群を抜き、それに従って、1位と2位が逆転した。

発表された一般演題は多分野に渡り、その数は懇談会時16.3題、地方会時17.8題、九州高圧学会時15.9題で、三者間に大差なく、ほぼ一定数の演題が集まっており、地方会になって学術集会を半日から1日へ延したため、特別講演のほかシンポジウムやパネルディスカッションを組込むことが出来るようになり、学術集会らしい雰囲気醸し出すことが出来るようになった。特別講演、シンポやパネルのテーマにはCO中毒、糖尿病性脱疽、重症感染症、減圧症、空気塞栓、スポーツ外傷などが取上げられ、参加者の関心を集めた。

昭和63(1988)年にスタートしたこの小さな学術集団は、その後、名称変更など紆余曲折しながら今日にいたり、地域に定着したものとなり、歴代会長のアイデアと創意工夫及び会員諸氏の一致団結と協力のお蔭で、少しづつ纏まった集団へと発展して行った事は誠に喜ばしく、学術集会創設者の1人として大変嬉しく思っている。今後はこの学術集団が更に発展し、飛躍することを切望するものである。

(最後にデータの集計にあたり、事務局中島さんのご協力に深謝する。)